

令和7年度 学校教育目標

加古川市立義務教育学校両荘みらい学園

校長 神吉 直哉

1 校 訓 「自主創造・共励切磋・感恩奉仕」

2 教育目標 「ふるさとを愛し ころろ豊かに 学びあう子どもの育成」

3 副題 ～グローバル人材の育成をとおして～

4 努力目標

(1)学習指導・・・「主体的・対話的で深い学び」による授業を展開し、自己教育力(自ら学ぶ意欲、態度、実践力)を高め、「確かな学力」を育てる。

①基礎学力の充実

- ・基礎基本の重視 「できる学力」の育成
- ・家庭学習の習慣化

②個に応じた指導と体験活動の充実

- ・自然学校やトライやる・ウィークなど豊かな心を培う体験学習の推進
- ・兵庫型学習システムの推進
- ・「ふるさとみらい科」「生活科」における学習活動の充実

③主体的に学習に取り組む態度(学びに向かう力)や能力の育成

- ・各教科での言語活動の充実
- ・9 か年を見通した外国語教育の充実
「海外協力校とのオンライン交流」「All English Day」 など
- ・「ことばの力」育成プログラムの実践

④生涯学習につながる授業の創造

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」への授業改善
- ・学ぶ楽しさ、学習意欲を高める指導方法の工夫
- ・ICT活用指導力の向上とプログラミング教育の充実

(2)特別支援教育・・・インクルーシブ教育システムの構築を見据え、特別な支援を要する児童生徒の自立とキャリア形成を目指す。

①基本的生活習慣の確立

- ・個を生かす、障害に応じた支援(合理的配慮)の推進
- ・効果的な教科学習、交流学習の推進

②正しい理解と啓発

- ・共生社会への正しい認識の強化
- ・保護者との信頼関係の構築

(3)生徒指導…人間的なふれあいを深め、健全な生活態度を養い、児童生徒の自己探求、自己実現をめざす。

①望ましい生活習慣の定着

- ・自ら高める規範意識の醸成
- ・主体的な学校行事への取り組み
- ・あいさつ運動の推進
- ・家庭、地域社会との連携

②主体的・自治的な学校生活の樹立

- ・励まし支え合う学級づくり
- ・学園会活動、クラブ活動・部活動の充実

③児童生徒理解の深化と信頼関係の確立

- ・教育相談、生活ノートを活用等による内面理解に基づく指導
- ・訪問指導の強化
- ・不登校児童生徒への支援(学力の向上を目指す)

④児童生徒の健全育成

- ・生徒指導体制の充実(報告・連絡・相談の充実)
- ・効果的な補導活動の充実
- ・学校、家庭、地域、関係機関等との連携

行動の三指針

人・もの・時間を大切に行動しましょう
場にあった行動をしましょう
自ら考えて行動しましょう

(4)進路指導…生徒の主体的な進路選択、進路決定能力を育てる。

①進路指導推進体制の確立

- ・進路指導体制の整備
- ・個人指導資料等の充実と活用
- ・後期課程3年間を見据えた進路指導計画の確立

②適切な進路情報の提供と進路相談の充実

- ・進路だよりの発行
- ・個に応じたガイダンス機能の充実

(5)道徳教育…基本的な生活習慣の確立と自律心の育成を図る。

①自己内省を深める「道徳」の充実

- ・「考え議論する」指導方法の工夫改善
- ・思いやり、親切、公德心、生命の尊重等の価値の重点的指導

②魅力ある授業づくり

- ・道徳的実践力を高める指導、「心かがやく」等資料の活用、教材開発

③道徳的実践活動の推進

- ・「心の絆プロジェクト」など実践活動の場、機会の整備
- ・家庭、地域との連携
- ・ボランティア活動の推進と機会整備

(6)人権教育・・・全教育活動を通して、人を大切にし、自らを大切にする人権尊重の視点に立ち、豊かな人権感覚を育成する。

①人間尊重に徹する人権教育

- ・命の尊さを学ぶ教育
- ・人権感覚の醸成
- ・人権尊重の学校文化の構築
- ・多文化共生教育の推進

②深まりある人権学習の展開

- ・差別解消の課題と展望の明確化
- ・差別を許さない、支え合う学級づくりの推進

(7)健康・安全教育・・・自他の生命を尊重して、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度と実践力を育てる。

①基本的生活習慣の確立

- ・家庭との連携
- ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実
- ・生きる力を育むための性教育の推進

②食育の推進

- ・指導体制の確立と指導内容の充実
- ・家庭・地域との連携

③体力・運動能力の向上

- ・新体力テストの効果的な活用
- ・電子版かこがわウェルネス手帳の活用
- ・部活動の充実

(8)防災教育・・・災害に対する正しい知識や技能を身につけ、適切に判断し、主体的に行動できる実践力を育成する。

①防災教育・防災体制の充実

- ・学校防災マニュアルに基づく訓練の実施

- ・自助、共助の実践意識の向上

- ・ボランティア活動の推進

②学校安全に関する校内体制の整備

- ・校内安全点検と事故防止指導の充実

- ・学校危機管理マニュアルの点検整備

- ・通学安全指導の徹底(交通安全教室や自転車安全教室の実施)

(9)福祉教育・・・全教育活動を通して、福祉への理解と関心を高め、命の大切さ、他を思いやる心や共に生きる心を培う。

①福祉教育推進体制の確立

- ・福祉に対する心と実践力の育成

②地域との連携の推進

- ・ふれあい交流学习の推進

(10)環境教育・・・環境に対する豊かな感性を育て、課題解決に向け実践的態度を養う。

①環境教育指導計画の充実

- ・各教科、総合的な学習の時間への位置づけの明確化

- ・人と自然のふれあいを大切にした環境教育の推進

- ・身近な課題から地球規模の課題へ、関心意欲を深化

②環境整備の実践力を育成

- ・学校・教室等の環境整備

- ・地域の環境整備

(11)国際理解教育・・・国際社会に生きる日本人としての自覚と、共に生きる豊かな心を育てる。

①日本の文化・伝統の理解

- ・文化、伝統等の体験活動の推進

- ・情報機器の活用

②世界の国々の文化・生活・習慣の尊重

- ・外国人とのコミュニケーション能力の育成

- ・国際交流の推進

(12)研修活動の充実・・・教職員としての資質と実践的指導力の向上に努める。

①資質・指導力の向上

- ・研修計画、内容の充実

- ・専門性の深化

- ・研修への積極的参加
- ・望ましい教育環境づくり
- ②信頼される教師に
 - ・豊かな心と人間性の涵養に努める。
- ③個人情報の管理徹底
 - ・危機意識の保持
 - ・施設・設備・備品管理の徹底

5 めざす3つの姿

(1)めざす(期待する)児童生徒像・・・「自ら考え、行動する児童生徒を育てる」

- ・基礎・基本を身につけている児童生徒
- ・きまりを守り、相手の立場になって考え、互いに協力し高め合える児童生徒
- ・素直、感謝の心を持ち、人や社会のために役立つことができる児童生徒

(2)めざす学校像・・・「児童生徒のための学校をつくる」

児童生徒、保護者、地域や教職員にとって魅力ある学校づくりをめざす。

- ・整備された潤いのある学校
- ・児童生徒や保護者に信頼される安心・安全な学校
- ・学校運営協議会の適切な運営により、「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・地域と連携し、地域に開かれた学校
- ・多様な価値観を認め合える学校
- ・グローバルな人類共通の開発目標

(3)めざす教師像・・・「児童生徒一人ひとりを大切にする」

さまざまな課題に適切に対応するために、児童生徒を正しく理解し、情熱あふれる教師をめざす。

- ・児童生徒理解に徹する教師
- ・常に意識を改革し、資質向上を図る教師
- ・使命感にあふれ、人間性の涵養に努める教師
- ・一層の研鑽に励み、保護者や地域からの負託に応える。

6 3つの実践・5つの対応

(1)3つの実践

①共感する姿勢を培う。

- ・教師の資質の一つである「共感する姿勢」は、目の前にいる児童生徒の心情を読み取り、その心情に的確に対応できる力である。
- ・この資質は、「授業」という教師と児童生徒の真剣なやりとりの中から培われていく。常に「共感する姿勢」を意識しながら授業を展開する

②成就感・存在感・所属感を味わわせる。

- ・「自尊感情」を高める基礎となるのは、自らの目標に向かって努力し、達成できたという成就感である。成就感は児童生徒の存在感を高め、自信へと繋がる。一人ひとりを生かし伸ばすために、体験的な学習や活躍する場を与え、成就感・存在感・所属感を持たせる。

③自己決定の場を設定する。

- ・児童生徒が夢を持ち、自己実現に向け努力する中で、意志をはっきりさせなければいけないときがある。適切な支援や指導を行い、児童生徒の主体的判断による実行力を育てる。

(2)5つの対応 **さしすせそ**

①最悪を想定した対応

- ・「きっと大丈夫」「いままでは大丈夫だった」は危険

②慎重に対応

- ・雑な対応は、後々、ほころびがうまれる

③素早い対応(早期発見・早期対応)

- ・状況把握の工夫を
- ・できるものは今すぐ
- ・指導結果の確認を確実に

④誠意をもって対応(言葉の後ろにある思いを理解する)

- ・誠実、親切、相手の身になって
- ・電話で済ませず、足をはこぶ

⑤組織で対応(チームとして機能する)

- ・一人で抱え込まない
- ・報告・連絡・相談の徹底

みらいを切り拓く「RYOSO5」

Respects

人を大切にしよう

Youths

いつも元気が一番

Objectives

目標は自分を変える

Strive

努力しよう

Oneself

「らしさ」は忘れない